

令和 5 年度

当初予算案の概要

令和 5 年 2 月

病院事業局

令和5年度 病院事業局 施策体系

■ 県民に安心・信頼・高度の医療を提供し、県民医療を守り支える

(1) 県立病院の役割を踏まえた医療の提供

- 安全、安心、信頼の医療の提供
- 大学・地域の医療機関等との連携の推進
- 新庄病院改築整備の推進
- 働き方改革への対応
- デジタル化の推進

(2) 安定的な運営基盤を実現する経営の改善

- 医療を支える人材の確保
- 高度・専門医療を担う人材の育成
- 安定した収益の確保及び医業費用の効率化
- 事務部門の強化

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

- 県民に対する適切な医療等の提供

令和5年度当初予算案 主要事業一覧

部局名：病院事業局

(単位：千円)

番号	項目名	予算額	区分	事業概要
(1) 県立病院の役割を踏まえた医療の提供				
1	安全、安心、信頼の医療の提供	893,433	拡充	○医療機器等の整備 ・中央病院全身用コンピュータ断層撮影装置（CT）更新 ・河北病院ハイブリッド滅菌機更新 ・こころの医療センター電動ベッド増設 等 ○病院の施設・設備の計画的な改修 ・中央病院放射線モニタリングシステム更新工事【新規】 ・中央病院照明制御装置更新工事【新規】 等
2	大学・地域の医療機関等との連携の推進	521,606	拡充	○新庄病院総合患者サポートセンター、地域救命救急センターの新設【新規】 ○河北病院における在宅医療等との連携の強化【一部新規】 ○中央病院患者サポートセンターによる入退院の支援
3	新庄病院改築整備の推進	3,776,456		○新庄病院改築整備事業 ・外構工事 ・医療機器・備品整備 ・医療情報システム整備 ・消耗備品等初度調弁 等
4	働き方改革への対応	891,001	拡充	○県立病院統合データベース利活用環境の構築【新規】 ○医師事務作業補助者・看護補助者の拡充 ○勤務管理システムの運用開始
5	デジタル化の推進	136,574	拡充	○県立病院統合データベース利活用環境の構築〔再掲〕 ○ランサムウェア等への対策の強化【新規】 ○AIを活用した診察前問診の実施 等
(2) 安定的な運営基盤を実現する経営の改善				
6	医療を支える人材の確保	1,154,974	拡充	○医療従事者確保対策 ・人材確保に向けたPR動画の作成【新規】 ・医師事務作業補助者・看護補助者の拡充〔再掲〕 ・臨床研修医の確保対策 等 ○仕事と育児の両立支援 ・新庄病院院内保育所の開設【新規】 等
7	高度・専門医療を担う人材の育成	374,602		○医師のスキルアップ研修（学会参加、研究調査） ○認定看護師及び専門看護師の育成 ○医療技術員の専門資格取得促進 等
8	安定した収益の確保及び医業費用の効率化	314,628	拡充	○旧鶴岡病院解体事業【新規】 ○県立病院調達マネジメントの強化【一部新規】 ○DPC分析ソフトの活用 ○弁護士事務所への未収金回収業務委託
9	事務部門の強化	317,204	拡充	○病院経営職員、医療情報職員等の採用及びスキルアップ【一部新規】 ○病院経営管理士の育成
(3) 新型コロナウイルス感染症への対応				
10	県民に対する適切な医療等の提供	194,840		○河北病院における山形県PCR自主検査センターの運営 ○オンライン診療、面会の実施 ○病院入口での感染対策の実施 等

令和5年度当初予算案 総括表

(「前年度対比」は令和4年度当初予算からの増減である)

表1 業務の予定量

		予定量	前年度対比	備考
入院	年間入院患者延数	354,463人	△1,752人	直近の患者動向、新庄病院移転に伴う診療制限を踏まえた見通し
	入院診療日数	366日	1日	
	一日平均入院患者数	968人	△7人	
	病床利用率	77.6%	1.2p	
外来	年間外来患者延数	523,624人	△7,417人	直近の患者動向、新庄病院移転に伴う診療制限を踏まえた見通し
	外来診療日数	244日	0日	
	一日平均外来患者数	2,133人	△31人	
ドック利用者延数		1,447人	△126人	

表2 収益的収支予算

(単位：千円)

		予算額	前年度対比	備考
収益的収入	医業収益	31,778,371	617,582	
	入院収益	21,771,524	665,591	1人1日当たり61,421円×患者延数354,463人 (前年度対比 +2,170円)
	外来収益	9,242,654	11,913	1人1日当たり17,651円×患者延数523,624人 (前年度対比 +269円)
	その他医業収益	764,193	△59,922	人間ドックの単価減による医療相談収益の減等
	医業外収益 (うち一般会計繰入金)	10,578,818 (6,119,463)	△9,889 (△159,784)	保健衛生行政事務に要する経費の繰入額の減等
	特別利益	480,279	287,844	新庄病院減損損失に係る長期前受金収益化による増等
	計	42,837,468	895,537	
収益的支出	医業費用	41,475,228	1,005,010	
	給与費	21,761,335	24,604	看護師処遇改善手当の支給による手当の増等
	材料費	9,599,170	34,592	診療材料の単価増による診療材料費の増等
	経費	7,460,160	956,945	電気料単価増による光熱水費の増等
	その他医業費用	2,654,563	△11,131	
	医業外費用	1,052,537	57,038	新庄病院改築整備事業に伴う長期前払消費税額償却の増等
	特別損失 予備費	1,388,502 2,000	1,348,679 0	新庄病院減損損失、旧鶴岡病院解体負担金による増等
計	43,918,267	2,410,727		
総収支		△1,080,799	△1,515,190	
経常収支		△170,576	△454,355	

表3 資本的収支予算

(単位：千円)

		予算額	前年度対比	備考
資本的収入	企業債	4,726,800	△7,626,700	新庄病院改築整備に係る建設改良費の減等
	出資金	131,885	18,897	
	負担金	1,886,035	△30,583	新庄病院の企業債償還元金の減に伴う減等
	その他資本的収入	176,882	△167,567	新庄病院改築整備に係る補助金の減等
計	6,921,602	△7,805,953		
資本的支出	建設改良費	4,689,920	△8,083,887	
	資産工事費	1,589,391	△10,034,035	新庄病院改築整備に係る工事費の減等
	資産購入費	3,084,217	1,950,148	新庄病院改築整備に係る医療機器購入費の増等
	リース資産購入費	16,312	0	
	企業債償還金	3,753,127	253,906	旧鶴岡病院事故繰越分の借換に係る償還による増等
計	8,443,047	△7,829,981		

(1) 県立病院の役割を踏まえた医療の提供

1 安全、安心、信頼の医療の提供

893,433 千円

① 医療機器等の整備

医療ニーズに対応した医療機器等の整備を実施。



中央病院 CT (現行)



河北病院 滅菌機 (現行)



こころの医療センター
電動ベッドへの更新

② 病院の施設・設備の計画的な改修

安全な医療環境を維持していくため、施設・設備の改修を実施。



中央病院
RI モニタリングシステム (現行)



中央病院
照明制御盤 (現行)

2 大学・地域の医療機関等との連携の推進

521,606 千円

① 新庄病院 総合患者サポートセンターの新設【新規】

入退院支援機能を一元化するとともに、医療・介護・福祉に関する各種相談機能を備えた窓口を設置。

② 新庄病院 地域救命救急センターの新設【新規】

ヘリポートを備えた、24時間・365日 救急医療を提供する救命救急センターを最上地域として初めて開設。

③ 中央病院 患者サポートセンターによる入退院の支援

入退院支援や院内の相談機能を一元化することにより、地域の医療機関との連携を強化し、患者の利便性向上を図る。



中央病院 患者サポートセンター

3 新庄病院改築整備の推進

3,776,456 千円

○ 新庄病院改築整備事業

外構工事、医療機器等のハード面の着実な整備のほか、新病院運営の総合リハーサルの実施や入院患者の移送等を実施。



新病院 建設状況 (R5. 1. 19 撮影)



新病院開院に併せて更新する CT



エントランスホール



総合受付



病棟スタッフステーション



患者図書室・カフェ

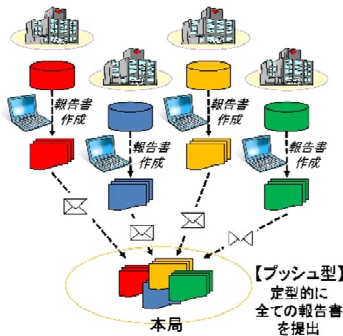
4 働き方改革への対応

891,001 千円

○ 県立病院統合データベース利活用環境の構築【新規】

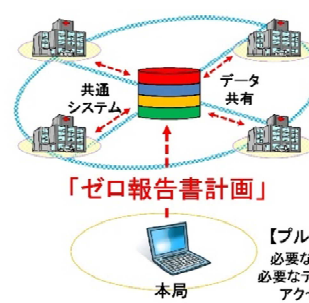
【導入前】

- 4病院個別のシステムから各病院担当者が、それぞれデータを抽出し報告処理を行う



【導入後】

- 4病院で1つに統合した医療情報に関するデータベースを構築
- 職員が経営分析に必要な患者動向等のデータを自ら取得できる環境を実現



【導入による
メリット例】

これまで各病院で行っていたデータ作成や報告の業務をゼロにすることで、大幅な業務改善に繋がる。

5 デジタル化の推進

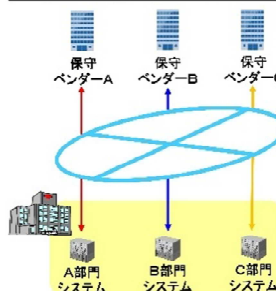
136,574 千円

○ ランサムウェア等への対策の強化【新規】

ネットワークセキュリティのレベル向上を図り、安全かつ確実な医療を提供する体制を強化。

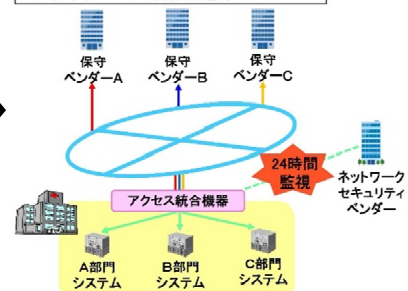
【対策前】

- 各部門システムごとに外部と接続
- 機器の種類や管理方法もバラバラ



【対策後】

- 外部アクセスの入口を1つに限定
- 集中管理と監視体制を確立



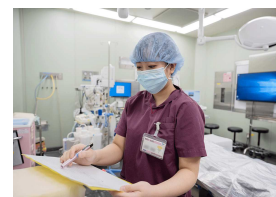
(2) 安定的な運営基盤を実現する経営の改善

6 医療を支える人材の確保

1,154,974 千円

① 人材確保に向けたPR動画の作成【新規】

県立病院での具体的な業務内容や、4病院の特色、魅力等について紹介する動画の作成。



② 新庄病院 院内保育所の開設【新規】

職員の仕事と育児の両立を支援するため新病院の敷地内に保育所を設置。



新庄病院
院内保育所
イメージパース

7 高度・専門医療を担う人材の育成

374,602 千円

○ 医師等のスキルアップ研修

高度・専門医療を提供するため、医師等のスキルアップを図る研修を実施するほか、学会等への参加支援を実施。



8 安定した収益の確保及び医業費用の効率化

314,628 千円

① 旧鶴岡病院解体事業【新規】

鶴岡市が旧鶴岡病院跡地にサッカー場を建設する計画を受け、県が鶴岡市に病院建物及び土地を無償譲渡する。

解体費用の1/2相当額を県が鶴岡市に負担する。



現在の旧鶴岡病院（管理棟）

② 県立病院調達マネジメントの強化【一部新規】

専門のコンサルタントを活用することにより、医療材料等の価格交渉を強化し、調達コストの縮減を図る。

9 事務部門の強化

317,204 千円

○ 病院経営職員、医療情報職員等の採用及びスキルアップ【一部新規】

専門業務に対応する病院経営職員や医療情報職員を配置するとともに、スキルアップ研修を新たに実施。



(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

10 県民に対する適切な医療等の提供

194,840 千円

① 河北病院における山形県PCR自主検査センターの運営

県民、企業の不安解消、社会経済活動を支援するため、無症状等の検査希望者を対象としてPCR検査や陰性証明書の発行を実施。



河北病院 PCR 自主検査センターの様子

② 病院入口での感染対策の実施

院内での感染を防止するため、病院入口で検温、手指消毒等の対策を実施。



新庄病院での実施状況



河北病院での実施状況